学校番号	3031

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「MOUSA　Ⅰ」　（出版社名　教育芸術社）						
副教材等	クラス合奏用　学生のためのギターテキスト　（出版社名　全音楽譜出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・演奏の授業では、歌唱（独唱、重唱、合唱など）、器楽（ギター）の分野で、バラエティーに富んだ音楽体験ができるようになっています。さまざまなジャンルにチャレンジして、音楽を一生楽しめるような技能を身に付けましょう。
・創作の授業では、自分でつくった作品を発表したり、作品について互いに意見を交換したりする機会を設けています。音楽を通してプレゼンテーションの力を身につけましょう。
・鑑賞の授業では、聴くだけでなく、音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。
・音楽が生涯にわたって、心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のように育成する。
・曲想と音楽の構造や文化的歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	・歌詞への理解を深め、イメージをもって豊かな声で歌いあげよう。 旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って表現しよう。	・曲にふさわしい発声などの技能を身に付ける ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりの理解を深める ・表現を工夫する ・表情豊かに歌う	a:曲想と音楽の構造や菓子とのかかわりについて理解している。（知識） a:発声方法、基本的な体の使い方を意識し、演奏する技能を身に付けている。（技能） b:旋律や歌詞、演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら､それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c:歌詞、旋律、曲想、作曲された時代背景について理解したり、基本的な体の使い方を意識し、創意工夫して、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・ワークシート

	ギターを弾いてみよう	・各部の名称 様々なギターとその音色について ・構え方 ・ダウン、アップ奏法による解放弦、音階 ・奏法について ・課題曲の演奏	a:曲想と楽器の音色、奏法との関わりについて理解している。(知識) a:ギターの奏法、基本的な身体の使い方を意識して演奏する技能を身に付けている。(技能) b:旋律やテクスチュア、ギターの演奏や、知識・技能を得たり、意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、ギターの奏法、基本的な身体の使い方を意識し、創意工夫して主体的・協働的に器楽で表現する学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・ワークシート
	音を聴き取る耳を鍛えよう	・ピアノの音色についてハ長調による単音 二和音(協調和音) 旋律の聴音	a:音の持つ要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら音楽に対する理解をしている。(知識) a: 音の持つ要素を知覚し､それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受したことを楽譜上にて表現する技能を身につけている。(技能) c:ピアノによる単音、和音、旋律の音の特質に関心をもって、聴音をする学習に主体的に取り組もうとする。	・ペーパーテスト		・授業観察
	重唱にてハーモニーを味わおう	・曲想と音楽の構造、歌詞との関わりの理解を深める ・表現を工夫する ・表情豊かに歌う ・課題曲の演奏	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知識) a:発声方法、基本的な体の使い方を意識し、演奏する技能を身に付けている。(技能) b:旋律や歌詞、演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら､それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c:歌詞、旋律、曲想、作曲された時代背景について理解したり、基本的な体の使い方を意識し、創意工夫して、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト		・授業観察

	音楽理論を理解しよう	・音の名称について ・音程、調性(長調)について	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知識) a:発声方法、基本的な体の使い方を意識し、演奏する技能を身に付けている。(技能) b:旋律や歌詞、演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c:歌詞、旋律、曲想、作曲された時代背景について理解したり、基本的な体の使い方を意識し、創意工夫して、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・ワークシート
後期	創作表現の探求をしよう	・曲の旋律に音を加えたり、リズムや拍子を変えたりした例を参考にして、変奏する。 ・曲の旋律にハーモニーとベースのパートを加えて重奏に編曲する。 ・作品の発表	a:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解をしている。(知識) b:旋律や歌詞、演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、創意工夫して主体的・協働的に器楽で表現する学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・ワークシート

	ギターでアンサンブルをしよう	・アルペジオ奏法ついて ・コードについて ・課題曲の演奏	a:曲想と楽器の音色、奏法との関わりについて理解している。(知識) a:琴の奏法、基本的な身体の使い方を意識して演奏する技能を身に付けている。(技能) b:旋律やテクスチュア、ギターの演奏や、知識・技能を得たり、意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり､琴の奏法、基本的な身体の使い方を意識し、創意工夫して主体的・協働的に器楽で表現する学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・ワークシート
	合唱にてハーモニーを味わおう	・曲想と音楽の構造、歌詞との関わりの理解を深める ・表現を工夫する ・表情豊かに歌う ・課題曲の演奏	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。(知識) a:発声方法、基本的な体の使い方を意識し、演奏する技能を身に付けている。(技能) b:旋律や歌詞、演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら､それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を工夫している。 c:歌詞、旋律、曲想、作曲された時代背景について理解したり、基本的な体の使い方を意識し、創意工夫して、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・ワークシート	曲想と音楽の構造、歌詞との関わりの理解を深める ・表現を工夫する ・表情豊かに歌う ・課題曲の演奏

	能を鑑賞し、謡に親しもう	・能《羽衣》を鑑賞し、能の歴史を知った上で、実際に謡を体験し、能の音楽の特徴を理解するとともに，能の魅力を味わう	a: 能を鑑賞したり能について調べたりしながら，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解する(知識) b:曲にふさわしい発声,言葉の発音,身体の使い方などに留意して謡い，表現に必要な技能を身に付けるとともに、自己のイメージをもって表現を工夫している c: 能の特徴に、関心を持ち、物語、表現との関わりについて理解したり、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	・ペーパーテスト ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・パフォーマンス課題	・授業観察 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度